

デラウェア州(宮城県の姉妹州)における “宮城県に対する義援基金の設立イベント”

ニューヨーク事務所

4月14日(木) デラウェア州ドーバー市 DOVER DOWNS HOTEL において、宮城県と姉妹州関係にあるアメリカ合衆国デラウェア州主催で、東日本大震災で大打撃を受けた宮城県に対する義援基金の立上げイベントが行われ、出席したので報告する。

◎主催者代表挨拶：マーケル知事

マーケル知事からは参加者に対する感謝とともに、本イベントにおいて50,000ドル近く集まったことについて報告があった。また、姉妹県の宮城に対する、親密な関係を改めて確認するとともに、人々の州境を越えた義援活動のすばらしさをたたえ、今後とも宮城県を支援していく方針を説明した。



マーケル知事

◎宮城県知事の親書の紹介、クレアニューヨーク事務所及び 在NY日本総領事館代表からのあいさつ



①宮城県知事の親書紹介



②在NY日本総領事館のあいさつ



③クレアニューヨーク事務所のあいさつ

◎主催者からのあいさつ

※ 今回のファンドレイジングイベントは、マーケル知事夫妻のほか、マシュー・デン副知事、アンソニー・J・デリューカ上院議長代行、ロバート・ギリガン下院議長、F・グレイ・シンプソン上院野党議員代表、グレゴリー・F・ラベル下院野党議員代表、カールトン・E・カーリー・シニアドーバー市長が発起人となっている(イベント当日は、都合によりギリガン議長は不参加)。

主催者の一人であるカーリー ドーバー市長からは、宮城(岩沼市)とドーバー市の学校間交流の長い歴史の紹介のほか、地震発生時、岩沼市で ALT として働いていた、アダム・テイラーさん(4月21日まで一時帰国中)の紹介があった。

その他の主催者の皆様からも、宮城に対する非常なる心配の念が表明されるとともに、励ましや、共闘の呼びかけなど温かいお言葉をいただいた。



カーリー市長とテイラーさん

◎イベントの様子



ランチョンの様子



ドーバー市長あいさつ



← デラウェア州上院議会における、東日本大震災で被害を受けた宮城への支援に関する決議書(内容には、これまでの姉妹都市交流の歴史等や、今回のファンドレイジングをはじめとした宮城に対する支援について記載されています)。

宮城県の被災状況を記載したパネル →
(パネルは、在住日系人会の方々の手で作られました)





在住日系人会が用意したテーブル飾り



在住日系人会が用意した和をイメージしたブース

◎所感

今回、本出張を通して、宮城からは地球の裏側といっても過言ではないくらい遠いこの地で、これ程大規模で、温かいイベントに出席でき、非常に感動したとともに、広報分野でデラウェア州に学ぶべきところが多数あった。日本において実施可能性は別として、イベント自体をラジオの生放送で流すために、プロのMCが進行を行うことや、州や市で Facebook のページを運用しホームページとは別により州民に身近な形で情報発信をしていく点については、非常に斬新に感じた。また、イベント終了後のホームページ掲載のスピードが驚くほど早く（翌日には州のHPに掲載があった）、この点については今後自分も見習うよう心がけていきたい。

なお、今回のイベント開催には、宮城ーデラウェアのコーディネートやイベント会場設営など、在住日系人の方々の精神的な活動や協力がイベント成功の大きな鍵であったことを忘れてはならないと感じた。

引続き、クリアニューヨーク事務所に派遣されている宮城県職員として、このような支援の手を差し伸べてくれたデラウェアー宮城のより強固な関係構築に努めていくとともに、平成 24 年度の姉妹都市提携 15 周年という節目の年にこれまでの感謝の意を表せるよう、現地駐在員としての役目をしっかりと果たしていきたい。また、今年度の幹部招聘セミナーにおいて、宮城県がホストとして受入れを決定したことにつき、宮城からクリアニューヨーク事務所へ派遣された者として、積極的に周知を図り、本事業の理解浸透を目指していきたいと思う。

(伊藤所長補佐 宮城県派遣)